

間口アグリファクトリー株式会社がキャベツ初収穫

【平成 30 年 9 月 10 日掲載】

北広島町で今年度からキャベツ生産を始めた間口アグリファクトリー株式会社は、9月10日（月）に初収穫を迎える予定です。9月6日（木）に販売を手掛けるJAグループ、関係機関と品質を確認して、「上々の出来」という評価を得ました。9月10日の初出荷から約3か月間で約40t（面積約0.8ha）の出荷を見込んでいます。

同社は、水田の畑地化を進め、7～8月に約3万本の苗を定植しました。今夏は記録的な猛暑となり、高温障害が懸念されましたが、スプリンクラーによるかん水に努め、大きな品質低下を防ぐことができました。

松本農場長は、「初めての栽培で豪雨、猛暑とたいへん厳しい天候を経験しました。基本管理をきっちり履行することで良いものができることが解り、自信につながりました」と言われています。

当所では、関係機関と連携し、現地巡回による基本管理の徹底支援を行うことはもちろん、同社と農地集積を進めている西宗地区住民との信頼関係づくりに重点を置き、尽力してきました。今後、地域の農地を大規模に集積していく同社を、地域と協力して支援していきます。



【キャベツを手にする松本農場長】



【キャベツの品質を確認する関係者】

情報提供元

西部農業技術指導所